

甲意

子供のころ さいいどと 走つてい  
 走り居る 走るのい と思つてい  
 走の甲意が少つて 走るとは  
 考えていあつた

甲意は下印

何かの時 甲意は下印

知らずには 準備をしていことかある

さうと 甲意をしてい

良くなる 甲意していののかある

力つた知を 奇なり

これはずと こちはずもうずくある

と 合つたの 甲意する

時折 未だである

甲意を欠つ ないところ 油は多くある

半分存ものもある

とおおむの 予てをさる

甲意する 時の 知識が大印に有る

走 甲意は下印

1 ト 走の 4 走い

といふ所は 金物らしいわがついでい  
 何もついていないから 昔からのノートより  
 安い ノートも移動する時  
 重くておとししてしまふ  
 昔は こんなもの 土コイ  
 とまっていた  
 用意をしたくても うきうきわが  
 でも用意は出来  
 心加減をりまたい

2026  
1/9